あの質問。その後は「上水道事業の

納

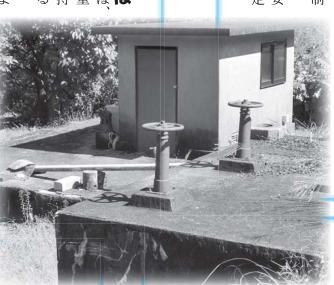
本定例会において、久木野地区 [猶須簡易水道組合] より水質改善 を求める陳情書が議会に提出された。来年2月には南阿蘇村誕生 10年を迎えようとしている。水道事業においても同様にあるのが 望ましいが、様々な問題を抱え、本村合併時までにはそこに至ら なかった。その後、早急な一元化を求める議員からの一般質問も 多々ありながら、事業の進捗が見受けられないのが実態である。 今回の陳情を機にレポートした。

業一元化の必要性

その利点として、 上水道に統合することにより、 等の施設は、 に整備された。これらは全国的に、 大規模な改修の時期を迎えている。 財政・ 一元した管理ができる。 村内各簡易水道を 現在老朽化が進み、

供給することができる。 心・安全な水道水を安定 \mathcal{O} 強化などが見込まれ、 村内各地域に、安

技術基盤・維持管理体制



水道を初めインフラと呼ばれる道路 1960~70年代の高度成長期に急速めインフラと呼ばれる道路・橋梁・体育館

ねられてきた。維持 旧村の事業体系のま 管理をはじめとする 合併前から協議が重 々の問題のため、 水道事業の統合は 現状は

内

水道

料金体系を見てみると、 4つの簡易水道] は、 使用量のトン数で計算、 白水地区 契約口径で計算、 長陽地区[1つの上水 [1つの簡易水道] **久木野**

道 •

区

[16の簡易水道と飲料水供給施設] においては、

ま現在に至っている。

更新及び事業体系の再構築の時期を迎えている。

んだ施設が数多く見受けられ、水道施設の大規模な

それぞれで管理運営されている。

中には老朽化が進

今までの動

進する為、 では各地区で説明会を行うなどして、 に対する支援制度を維持しつつ、統合を重点的に 南阿蘇村簡易水道事業統合計画書』を策定し厚労 さまざまな状況を踏まえ厚生労働省では簡易水 補助制度の見直しが行われている。 平成21年度に 本 村

た結果、 改修が必要な施設が数多く見受けらた結果、築40~50年が経過し、早急 調査を行うなどし その計画に基づき、 上水道を統合することに 省から認可を得、 今後統合に向けた作業が進めら 新しい事業体系の構築に役立つよう、 改修が必要な箇所の把 平 て、 水道関連施 ・成28年度末までに 資産調査を進 なっている。 早急に 設等 れて 握 B れ \emptyset 0

どうなる?進むか水道インフラ

き問題 が水道事業の統合に関しては、 水道事業の統合に向けた準備が進められている。 また、より良い方法で管理・運営が行えるよう、 安全な飲料水を安定して供給し続けられるよう、 兀化が進むことを望む。 それに反し、高齢化・ が山積しているが、 【大規模災害への対応や施設整備への高額 なものである。将来にわたりこの安心・ でもなくライフラインの中で最も重要 安心・安全な飲料水の供給は、 過疎化等による低収 日も早く上水道の まだまだ解決すべ 言うま